

「革新ビジネスアワード2015」開催レポート

大賞にホームセキュリティサービスのSecual

中小・ベンチャーの支援組織であるイノベーションズアイとフジサンケイビジネスアイが主催するビジネスコンテスト「革新ビジネスアワード2015」の最終選考会が、12月2日に東京都品川区のきゅりあん（品川区立総合区民会館）で開催された。イノベーションズアイ会員のWeb投票およびイノベーションズアイの支援機関、新聞社の推薦で選ばれたファ

イナリスト9社が、約200名の来場者を前にビジネスアイデアを競った。厳正な審査の結果、「窓やドアに貼るだけ！『Secual』（セキュアル）でホームセキュリティをもっと身近に、多くのひとと一緒にプレゼンテーションを行ったSecual（東京都渋谷区）が大賞に輝いた。大賞ならびに各賞受賞者のプレゼン内容を紹介します。



（後列左から）▽内山ともや氏▽山崎浩之氏▽三井恒雄氏▽上野高二氏▽伊藤由起子氏
（前列左から）▽平井良明氏▽古澤秀和氏▽青柳和洋氏▽宮沢祐光氏

ファイナリスト (50音順)	所在地	プレゼンテーションタイトル
株式会社アートプラン	滋賀県彦根市	「日本が介助の手を借りずとも自分の喉、移動が楽になる自立支援型移動介助ロボット『変形くん』
株式会社イーハイブ	福岡市中央区	「『スマフォアプリ風』ホームページ「すまっぼん!」
AURAL SONIC株式会社	福岡市中央区	「聴覚（の）耳に取り付けるだけで、耳が遠い方の話をサポートする補助デバイス『優秀]受賞
株式会社三陽プレジジョン	東京都品川区	「下肢筋力を数値化する可視化することで転倒リスクを軽減し転倒予防につなげる下肢筋力測定器
合同会社 生活革命	さいたま市中央区	「先端ロボット『Pepper』のサービス実用化までの商用ビジネス化
株式会社Secual	東京都渋谷区	「窓やドアに貼るだけ!『Secual』セキュアルでホームセキュリティをもっと身近に、多くのひとと一緒に
株式会社ゼスト	東京都中央区	「たかがYOTEI、されどYOTEI!〜これからのフィールドサービスマネジメント!〜
株式会社ゼネクス	東京都新宿区	「地盤など災害発生時に警報と連動し目的地まで自動通知する防災アプリ
代表取締役 上野高二氏	東京都中央区	「誰でも簡単に『あなたと社会と日本が輝く!』を実現するNPOに寄付できる『おまエイド』プログラム
T.Mコミュニケーションサービス株式会社	東京都品川区	「聴覚NPOに寄付できる『おまエイド』プログラム
代表取締役社長 三井恒雄氏		

◇大賞◇

Secual 代表取締役CEO 青柳 和洋氏



安価で手軽でありながら信頼性の高いホームセキュリティサービス「Secual」（セキュアル）を販売。ホームセキュリティサービスの市場ではこれまで、その利用者は高所得者や持家世帯が中心だった。同社はそれを、より広い層に普及させることで、安心・安全の社会に寄与する理念を強調した。

◆よい仕事おこし賞

AURAL SONIC

代表取締役

古澤 秀和氏



壁に取り付けるだけで、耳が遠い方の会話をサポートする「認知症撲滅プロジェクト」に取り組んでいる。当社のパネルはノイズだけを減らして聞きたい言語や音色だけを反射して残すのが特徴。これまでは音楽関係を中心に

営業を進めてきたが、今後は補聴パネルや聴覚改善マットとして医療・福祉分野に注力していく計画だ。「認知症患者に実験したところ会話ができるようになった。単に聞こえていなかっただけで認知症ではなかったと判明したケースもある」と古澤氏は効果を実感している。マーケットは1000万人で、シェア1%を獲得することを目指す。商品を広め、聴覚者も会話ができるようにすることで世の中の認知症患者を減らしたいと考えている。

◆オーディエンス賞

イーハイブ

取締役統括責任者

平井 良明氏



スマホアプリ風ホームページ「すまっぼん!」を提供している。インターネットの視聴環境がパソコンからスマートフォンに変化している中で、企業はどのように顧客を思い込めるかが課題となっている。「すまっぼん!」は携帯アプ

リのようにスマートフォンのホーム画面にアイコンを置くことができるが、アプリのようにダウンロードや登録の必要がなく、手軽に自社のホームページへ誘導することができるサービスだ。営業マンがデジタルを軸として使用できるほか、店舗では会員のポイントカードの代わりにするなど用途は幅広い。アイドルグループと連携し、各メンバーのアイコンを作成する試みも行っている。10月から始めたばかりだが、今後は観光業界など国際的な展開も期待される。

「Secual」は、ドアや窓に取り付けるだけで設置可能なセンサーと、異常な衝撃・振動・開閉を検知すると大音量の警報アラームを鳴らして侵入犯を威嚇するゲートウェイ（各センサーに対する親機のリモコン）、同時に顧客のスマートフォンに緊急通知する専用アプリで構成。顧客は早期に異常を把握でき、その通知はアプリで事前登録したグループ（家族や友人、近隣宅など）に、プリセットした音声やメールで一斉連絡。これにより、状況の確認依頼や警戒の呼びかけな

どの対応ができる。設置も、センサーは貼り付けるだけ、ゲートウェイは電源コンセントにさし込むだけ、アプリをインストール・初期設定すれば、配線や工事も不要。そのため、工事代の手間やコストも削減でき、賃貸住宅にも設置できる。青柳氏は、「まだ創業間もない会社だが、今回の大賞受賞を励みとし、これまで以上に当社システムをより多くの方々に使って頂けるよう、サービスの拡充に努めていきたい」と宣言した。

◆支援機関賞

アートプラン

福祉機器部責任者

山崎 浩之氏



下半身が動かせない要介護者が介助者の手を借りずに自ら操作してトイレやベッド、車椅子に移乗することを可能にした移動介助ロボット「変形くん（あいじょうくん）」を開発した。自立支援だけでなく、誰にも気兼ねせず一人で好きな時

に移乗することができ、精神的負担も解消。また、重労働から腰痛になりがちな介助者の肉体的負担も軽減できる。要介護認定者が年100万人増加している現状を背景に、産業用の自動化・省力化機械装置の製作で培ったノウハウを福祉分野に展開。滋賀県立大学と共同研究で、身体に最も負担の少ない立上り方軌跡を数値化し、設計に反映した。おんぶの姿勢がとれない重度の方でも移乗可能な新機種も開発中。要介護者、介助者へのさらなる支援を目指す。

◆フジサンケイビジネスアイ賞

ゼスト

代表取締役

伊藤 由起子氏



建築現場で確認検査を行う作業員や技術者を配置・手配し、移動時間や経路を最適・効率化できるフィールドサービスマネジメントシステムを提供している。「まだ世の中になく、人が本当に困っていることを解決するシステムしか作ら

ない」がモットー。東日本大震災で業務が急増していた官公庁の確認検査機関が導入したが、それまでは一人の担当者が手作業で毎日400件に及ぶスケジュール調整を行っていた。当システムを導入することにより、作業件数を増やすことができただけでなく、優秀な担当者も救うことができたことと評価された。今後はクラウド化することでさらなるコストダウンにも挑戦する。海外進出も視野に入れ、積極的に他社との協力や連携を模索していく。

※上記5社のプレゼンテーション動画はホームページ（www.innovations-i.com/is/award2015）で公開しています。

<プラチナスポンサー>

城南信用金庫
城南信用金庫

<ゴールドスポンサー>

Triple Good.
トリプルグッド税理士法人

<シルバースポンサー>

株式会社希望大地
弁護士法人クレア法律事務所
大学新聞社